

3 国際拠点港湾 広島港

(1) あゆみ

明治時代初期、広島湾岸には、太田川から運ばれた大量の土砂が堆積し、遠浅の海が広がっていた。そのため、大型船が直接着岸することができず、旅客や物資の輸送に不便をきたしていた。そのため、広島県では、明治11年(1878年)に宇品築港を計画した。この計画の実現に尽力したのが、明治13年(1880年)に県令に就任した千田貞暁である。当初の工事計画は巨額の資金を必要としたが、愛知県人の服部長七が人造石を用いた工法を提案し、経費削減の見通しが立ったため、明治17年(1884年)9月に着手した。その後も、暴風雨による大規模な堤防決壊や資材・賃金の高騰による資金難で工事は難航を極めたが、明治22年(1889年)11月によろや竣功し、現在の広島港は近代港湾としての第一歩を踏み出した。

| | | |
|-------|-------|--|
| 明治22年 | 1889年 | 千田県令による宇品築港事業竣工 |
| 明治27年 | 1894年 | 日清、日露戦争を契機に旧陸軍の軍用港となる(昭和20年まで) |
| 大正11年 | 1922年 | 埋立法により「宇品港」と指定 |
| 昭和7年 | 1932年 | 港域を拡大し、「宇品港」を「広島港」に改称 |
| 昭和8年 | 1933年 | 第二種重要港湾に指定 内務省が宇品西地区の商業港修築事業に着手(～22年) |
| 昭和15年 | 1940年 | 県が広島工業計画事業に着手(～22年、埋立340ha) |
| 昭和23年 | 1948年 | 貿易港として開港指定 |
| 昭和26年 | 1951年 | 重要港湾に指定 |
| 昭和28年 | 1953年 | 広島県が港湾管理者となる 運輸省が宇品外貿埠頭改修事業に着手(～63年) |
| 昭和45年 | 1970年 | 港湾区域変更により廿日市港区を編入し、廿日市木材港改修事業に着手 宇品外貿埠頭(通称:一万トンバース)完成(10,000トン級4バース) |
| 昭和50年 | 1975年 | 宇品県営棧橋旅客施設完成 |
| 昭和53年 | 1978年 | 廿日市木材港の開港 海田湾整備事業に着手(～61年、151ha) |
| 昭和62年 | 1987年 | 海田湾整備事業が完了し、海田コンテナターミナル完成 広島－仁川(韓国)定期コンテナ航路開設 広島ポータルラジオ局開局 |
| 平成元年 | 1989年 | 宇品外貿第5バース完成 広島港築港100周年記念を迎える |
| 平成2年 | 1990年 | 広島－台湾定期コンテナ航路開設(川崎汽船) 広島－釜山(韓国)定期航路開設 広島港開港以来30,000隻の貿易船入港を記念 広島－台湾定期コンテナ航路開設(大阪商船三井船舶) 海田大橋供用開始 |
| 平成3年 | 1991年 | 宇品外貿穀物サイロ完成(貯蔵能力6,900トン) 広島－ニュージーランド定期航路開設 広島港シンボルタワー(パラダイスの塔)とインフォメーションセンター完成 |

| | | |
|-------|-------|---|
| 平成 4年 | 1992年 | 特定重要港湾に指定 広島－ニュージーランド定期航路開設(専用) 広島ポートルネッサンス21・宇品内港地区港湾整備事業に着手 |
| 平成 5年 | 1993年 | 廿日市木材港改修工事(II期)に着手 |
| 平成 7年 | 1995年 | 通関情報処理システム稼動 |
| 平成 8年 | 1996年 | 広島ポートルネッサンス21・出島地区港湾整備事業に着手 |
| 平成 9年 | 1997年 | 広島港開港40,000隻(貿易船)を達成 広島観音マリーナ供用開始 |
| 平成10年 | 1998年 | ウェリントン港と友好提携 ベイサイドビーチ坂(第1期区間)供用開始 |
| 平成12年 | 2000年 | 宇品大橋(広島南道路)開通 広島－香港航路開設 |
| 平成13年 | 2001年 | 広島はつかいち大橋供用開始 |
| 平成14年 | 2002年 | 広島国際フェリーポート供用開始 |
| 平成15年 | 2003年 | 広島港国際コンテナターミナル供用開始 広島港宇品旅客ターミナル供用開始 廿日市ボートパーク供用開始 |
| 平成16年 | 2004年 | 広島－台湾・マニラ航路開設 |
| 平成17年 | 2005年 | 広島－北米航路開設 |
| 平成19年 | 2007年 | ボートパーク広島供用開始 |
| 平成20年 | 2008年 | 五日市漁港フィッシュマリーナ供用開始 ベイサイドビーチ坂(第2期区間)完成 全区間供用開始 |
| 平成21年 | 2009年 | 広島港築港120周年記念を迎える 台湾・東南アジア航路開設 ベトナム・ハイフォン港への航路延伸 |
| 平成23年 | 2011年 | 国際拠点港湾に指定 |
| 平成24年 | 2012年 | 五日市地区耐震強化岸壁完成 |
| 平成27年 | 2015年 | 五日市地区に客船クァンタム・オブ・ザ・シーズ初入港 |
| 平成29年 | 2017年 | 港湾運営会社によるコンテナターミナルの運営開始 |
| 平成30年 | 2018年 | 広島はつかいち大橋(4車線化)に着手 |
| 令和 4年 | 2022年 | 宇品外貿埠頭-10m岸壁(第5バース)延伸改良工事完成 |